

ネムノキの結実@筑波実験植物園 (TBG)

このPENだよりでは、Phenological Eyes Network (PEN) が取得したデータの中からいくつかのデータをピックアップして不定期にご紹介します。今回は、国立科学博物館 筑波実験植物園内の自然史標本棟屋上に設置した自動定点カメラが捉えたネムノキ (*Albizia julibrissin*) の結実の様子をお伝えします。(中村・笹川・奈佐原)

使用した画像のカメラID: ctpe1

今回使った画像の全景



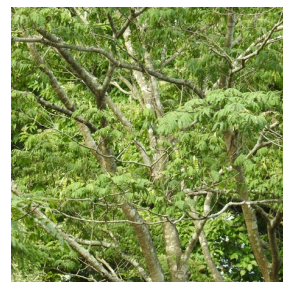
ネムノキはマメ科の落葉樹で、7月ごろに実をつけます。1つの花序（花の集まり）あたりに1~3個の実がなり、実の長さは10 cmほどです¹。

2024年は花が終わりかけている7月13日ごろから実が見られました。木全体に黄緑色の細長い実がついているのが確認できます。

現地での様子

(2023/08/01撮影)

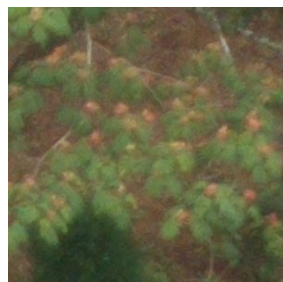
▼ネムノキ



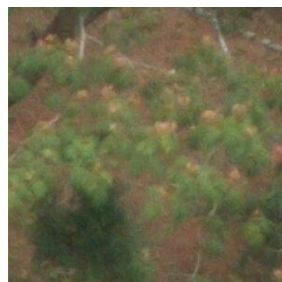
▼ネムノキの実



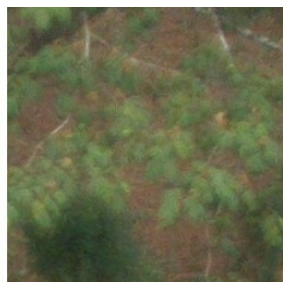
2024/07/01



2024/07/06



2024/07/11



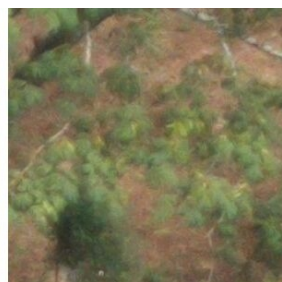
2024/07/16



2024/07/18



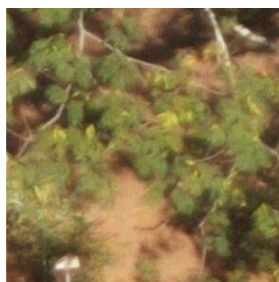
2024/07/24



2024/07/28



2024/08/01



これらの画像はPENのwebサイト (<https://pen.envr.tsukuba.ac.jp/~TBG/summary/dc/>) からご覧になれます。

PENだよりについてのご意見・ご感想などは、s2421169@u.tsukuba.ac.jpまでお寄せください。

参考文献：[1] 八田洋章（監修）．樹木生活史図鑑．北隆館，2024．